

**TTC標準**  
Standard

JJ-300.01  
端末区分情報リスト

( The List of Device Category )

第 2.1 版

2018 年 6 月 5 日制定

一般社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、一般社団法人情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を一般社団法人情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

## 目 次

<参考>.....	4
1. 本リストの目的 .....	5
2. 参照文書（非規準参照文書） .....	5
3. スコープ .....	5
4. ユースケース .....	5
4-1. ユーザによる、ホームNW内端末の選択.....	5
4-2. リモートサポートセンタのオペレータによる、ホームNW内の端末の特定.....	6
5. 端末末区分情報のリスト .....	6

## <参考>

### 1. 国際標準等との関連

なし

### 2. 関連するTTC標準

JJ-300.00, “ホームNW接続構成特定プロトコル” 第3.0版 2017年5月25日

### 3. 工業所有権

なし

### 4. 改版の履歴

版数	改訂日	改版内容
1.0	2010年11月16日	制定
1.1	2011年9月6日	・誤記訂正 (P.6の下から3行目: 「表3」を「表5」に訂正) ・<参考>2.の参照文書を「第1版」から「第1.1版」に訂正
2.0	2015年8月27日	・端末区分名として、機器がサポートするプロトコルを示すための区分名を追加
2.1	2018年6月5日	・端末区分一覧 (表5) の値 (英文名称) の内、英文を2か所訂正 (Blind → WindowShade, Hoover → VacuumCleaner)

### 5. 標準作成部門

第1版: 次世代ホームネットワークシステム専門委員会

第1.1版: 次世代ホームネットワークシステム専門委員会

第2.0版: 次世代ホームネットワークシステム専門委員会

第2.1版: IoTエリアネットワーク専門委員会

## 1. 本リストの目的

昨今ホームネットワーク（以下、ホーム NW）内に、ネットワーク接続可能な端末が増加傾向にある。また、端末が直接インターネットに接続するサービスだけではなく、ホーム NW 内の端末同士が、ホーム NW を介して通信するサービスも普及している。例えば、他の通信を利用して端末の電源を制御できるサービスが存在する。しかし、同じサービスを提供する端末が、ホーム NW 内に複数台存在した場合は、ユーザは、制御する端末のみを確実に指定する必要がある。このとき、ホーム NW に接続されている端末を、その端末の区分情報で提示することで、ユーザはサービスを提供する複数の端末の中から、目的の端末を容易に選択できるようになると考えられる。

本文書では、この端末の種類を示す区分を形式化し、区分を一意に特定する値を定義する。ある端末が、自身の区分を他の端末に通知することが可能な場合、情報が形式化されていることで、人間だけでなく、アプリケーションにおいても利用しやすくなる。例えば、アプリケーションにおいて、この区分情報を利用することで、ユーザにとって分かりやすいアイコンで端末を表現することも可能となり、ユーザの利便性の向上が期待できる。

## 2. 参照文書（非規準参照文書）

[1] デジタルテレビ情報化研究会: “デジタルテレビ ネットワーク機能仕様 ネット家電操作機能仕様書”,  
March 2008.

## 3. スコープ

本文書のスコープは、家電やパーソナルコンピュータ等の、主にホーム NW 内に存在する端末である。

## 4. ユースケース

ここでは、端末区分を利用する二つのユースケースを記述する。

### 4-1. ユーザによる、ホーム NW 内端末の選択

ホーム NW に接続された各端末が、他端末からの命令を受信することで、自端末の電源の ON/OFF を制御する機能を提供していたとする。図 4-1 に示すように、ホーム NW 内のパーソナルコンピュータ（以

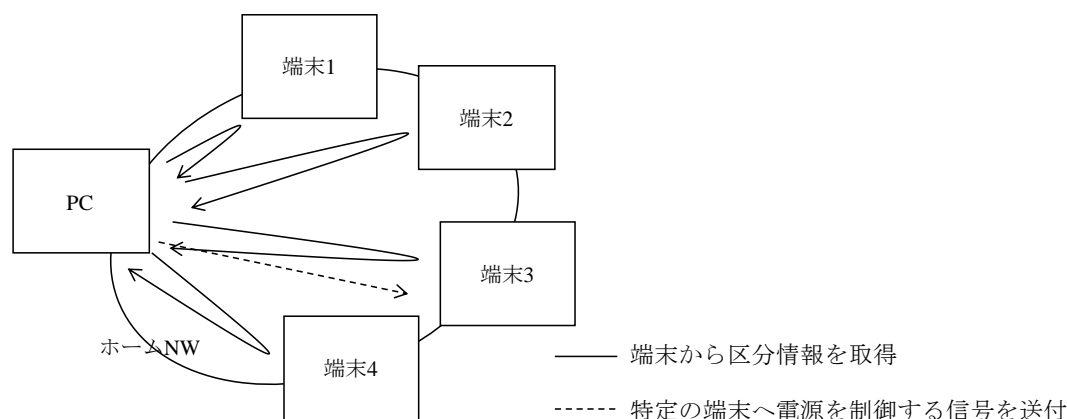


図 4-1. ホーム NW 内の各端末から区分情報を取得する例

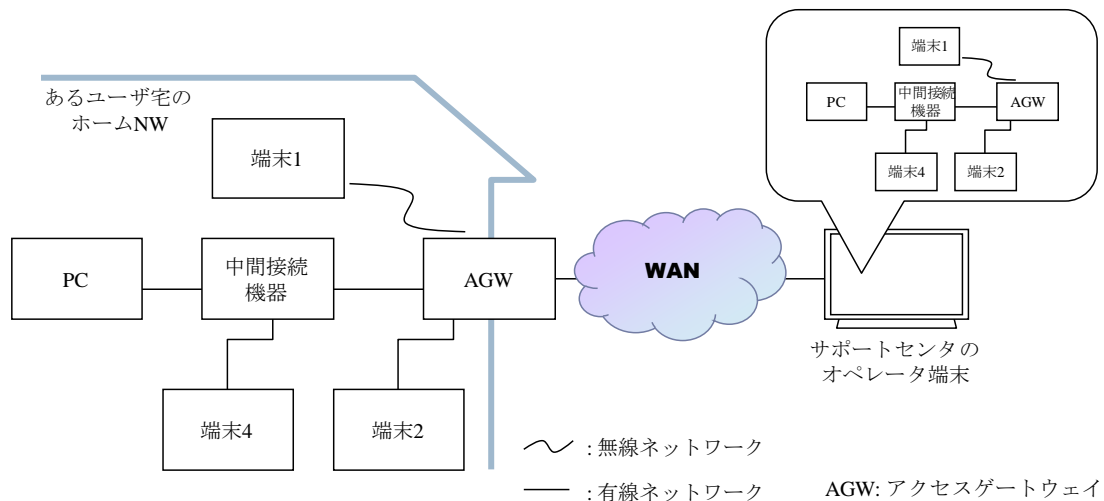


図 4-2. ホーム NW 内に接続されている端末を遠隔から特定する例

下、PC) がホーム NW 内の各端末から区分情報を取得して、各端末のアイコンを生成し、ユーザに対して提示することで、ユーザは特定の端末を容易に選択でき、その端末の電源を制御することが容易となる。

目的の端末を特定後は、ユーザは PC 上にてその端末を指定する。そして、その端末へ PC を利用して電源を制御する信号を送信する。

#### 4-2. リモートサポートセンタのオペレータによる、ホーム NW 内の端末の特定

あるホーム NW に接続されている端末が提供するサービスに不具合が生じ、ユーザがサポートセンタに症状を問い合わせたとする。このとき、図 4-2 のように遠隔にあるサポートセンタのオペレータに対して、サポートセンタ側で、ホーム NW に接続されている端末の区分情報を知ることができれば、ホーム NW に接続された端末をアイコンで提示することが可能となる。これを利用することで、オペレータはユーザとの少しの会話のみで、不具合が発生している端末を特定できるようになる。これより、対話時間の短縮も可能になる。

このように、端末の区分情報が形式化されることで、オペレータとの会話も円滑にすることも可能となる。

### 5. 端末末区分情報のリスト

表 5 は、端末の区分を示した表である。本リストは、デジタルテレビ情報化研究会仕様 [1] を元に作成した。分類として、大区分、小区分に付けており、端末の小区分情報を指定する。大区分ごとに接頭文字が変わり、AV 系の端末の場合は、“AV\_” を接頭に付加し、PC 系の端末の場合は“PC\_”、電話や中間接続機器等の通信系の端末の場合は“COM\_”、白物家電等のくらし系の端末の場合は“LIFE\_”、ゲーム機器等の娯楽系の端末の場合は“AM\_” を付加する。端末がサポートするプロトコル (例 ECHONET Lite) を示すための区分名は、“PROTOCOL\_” を接頭に付加し、プロトコル名を示す文字列を後に続ける。

表 5 には記載されていない端末の区分を、独自に用意することも可能である。大区分を新たに定義する場合は、接頭に“X\_” を付加し、その後に独自に定義した大区分と小区分を追加する。例えば、CAR という新たに大区分を定義し、Navigation という値の小区分名である場合、X\_CAR\_Navigation のようになる。大区分を新たに定義しない場合は、表 5 の大区分の分類を利用する。分類された大区分情報を接頭に付加し、その後に“X\_” を付加し、独自に定義した小区分名を付加する。例えば、新たな記録メディアの記録

装置 (NewmediaRecorder という値) を定義する場合、AV\_X\_NewmediaRecorder となる。

各団体が独自に定義していくと、同じ文字列だが、指し示す機器が異なる競合が発生する可能性がある。この事態を避けるため、端末の値の後に “:” を追加し、さらに “:” の後に、各団体を表すような接尾辞を付加しなければならない。例えば、AV 系で、ある新たな端末があり、その小区分名が NewmediaRecorder であり、かつ団体名が kaisha であった場合、端末区分名は、AV\_X\_NewmediaRecorder:kaisha と記述する。独自に定義する大区分、小区分名、団体名において使用可能な文字列は、以下のようになる。ただし、独自拡張端末区分名の全体の文字列の長さは 64 文字以下でなければならず、ユーザが読んで理解できる文字列にしなければならない。

[a-zA-Z0-9][-'()+./=:?\*#@\$\_%]

表 5. 端末区分一覧

大区分	小区分	説明	値
AV 系	ネット TV 端末	テレビ	AV_TV
	レコーダ	ビデオ、DVD レコーダ、HD-DVD レコーダ、BD レコーダ、HDD レコーダ	AV_Recorder
	STB	セットトップボックス	AV_STB
	AV アンプ	アンプ	AV_AMP
	デジタルカメラ	デジタルカメラ	AV_DigitalCamera
	デジタルビデオカメラ	デジタルビデオカメラ	AV_VideoCamera
	オーディオ	CD オーディオ、MD オーディオ、ポータブルオーディオ、IC オーディオ	AV_Audio
	プレイヤ	光ディスクプレイヤ	AV_Player
	プロジェクタ	プロジェクタ	AV_Projector
	フォトフレーム	デジタルフォトフレーム	AV_PhotoFrame
	その他		AV
PC 系	デスクトップ	デスクトップ PC	PC_DeskTop
	ノート PC	ノート PC	PC_Notebook
	ストレージ	ネットワークストレージ	PC_NAS
	PDA	PDA	PC_PDA
	プリンタ	プリンタ	PC_Printer
	その他		PC
通信系	携帯電話	携帯電話	COM_Cellular
	IP 電話	IP 電話	COM_IPphone
	ルータ	ブロードバンドルータ	COM_IGD
	FAX	FAX	COM_Facsimile
	スイッチングハブ	スイッチングハブ	COM_Switch
	PLC モデム	PLC モデム	COM_PLCModem
	無線 LAN モデム	無線 LAN モデム	COM_WirelessModem
	同軸ケーブルモデム	同軸ケーブルモデム	COM_CoaxModem
	その他		COM

くらし系	エアコン	エアコン	LIFE_AirConditioner
	冷蔵庫	冷蔵庫、冷凍庫、冷凍冷蔵庫	LIFE_Refrigerator
	洗濯機	洗濯機、洗濯乾燥機	LIFE_WashingMachine
	照明	照明	LIFE_Lighting
	電子レンジ	電子レンジ、オーブン	LIFE_MicrowaveOven
	Webカメラ	Webカメラ	LIFE_WebCamera
	ゲートウェイ	ゲートウェイ、コントローラ	LIFE_Gateway
	ドアホン	ドアホン	LIFE_Interphone
	センサ	センサ類各種	LIFE_Sensor
	換気扇	換気扇	LIFE_Ventilator
	ブラインド	電動ブラインド	LIFE_WindowShade
	シャッター	電動シャッター	LIFE_Shutter
	雨戸	電動雨戸	LIFE_SlidingDoor
	散水器	散水器	LIFE_Sprinkler
	給湯器	給湯機、瞬間湯沸器	LIFE_WaterHeater
	便座	電気便座	LIFE_ToiletSeat
	電気錠	電気錠	LIFE_ElectricKey
	太陽光発電	太陽光発電	LIFE_SolarPower
	床暖房	床暖房	LIFE_FloorHeating
	ポット	電気ポット	LIFE_Pot
	IH調理器	IH調理器	LIFE_InductionHeating
	炊飯器	炊飯器、電子ジャー	LIFE_RiceCooker
	掃除機	掃除機	LIFE_VacuumCleaner
	その他		LIFE
娯楽系	据置ゲーム機	据え置き型のゲーム	AM_GameMachine
	ポータブルゲーム機	ポータブル型のゲーム	AM_PortableGameMachine
	家庭用ロボット	ロボット	AM_HomeRobot
	その他		AM
プロトコル系	ECHONET Lite	エコーネットライト	PROTOCOL_EchonetLite
	SNMP	SNMP	PROTOCOL_Snmp
	その他	プロトコル名が protocolname の場合、右記の規則に従い追加	PROTOCOL_Protocolname
その他			MISC